

FGF 添加についての治療説明書・同意書

線維芽細胞移植術は、患者様ご自身の皮膚から採取した線維芽細胞を培養し再度皮膚に注入することでコラーゲンやエラスチンの生成を促し肌の再生を目的とするものです。本件では、線維芽細胞移植術において細胞の活性を一時的に高め定着率を向上させる目的で **FGF(線維芽細胞増殖因子)**を少量添加いたします。

FGF は体内にも存在する成長因子の一種であり、コラーゲンやヒアルロン酸などの産生を促しますが投与部位で過剰な反応を起こすリスクがあるため慎重な管理のもと使用します。

FGF を用いるメリット・デメリットは下表のとおりです。

	メリット	デメリット
FGF なし（標準治療）	副作用の心配がない	細胞の定着率が悪いと多くの細胞を使用しないと効果が出ない（価格が高い）
FGF あり	細胞の定着率が向上するため少ない細胞で治療ができる（価格が安い）	副作用のリスクがある

起こりうる副作用・合併症

- ・注入部位の腫脹、発赤、疼痛、一時的な硬結
- ・一過性の色素沈着
- ・まれに線維化、しこり形成
- ・局所的な過剰再生反応（肥厚・硬結）
- ・感染・アレルギー反応

※これらの症状が生じた場合は適切な処置（抗炎症薬の投与やステロイド等による調整）を行います。

私は、上記の内容について説明を受け、十分に理解しました。
施術の目的・方法・効果および副作用について説明を受けたうえで本治療を希望します。

年 月 日
本人署名
代諾者署名
（本人との関係）